

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A. THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

KOFU21

Chartered 1990
甲府21ワイズメンズクラブ

編集長 野々垣和宏

2024年9月10日(火) 発刊



〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7
山梨Y M C A グローバルコミュニティセンター
☎055-235-8543 fax055-235-8553
Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長	A・シャナヴァスカーン(インド)	「より良い世界のために、共に」 (Together for a Better World)
アジア太平洋地域会長	ジョウン・ウォン(香港)	「大きなインパクトを起こそう」(Make a Great Impact)
東日本区理事	山田公平 (宇都宮)	「ワイズの方向性を見極める」(Our Future Direction)
あずさ部部长	ピーター・マウントフォード(甲府)	「めあて 望み」
甲府21クラブ会長	興水順雄	「未来のために行動しよう」(Let's act for future!)

甲府21ワイズメンズクラブ
2024年9月会報

今月の強調テーマ

EMC

【今月の聖句】

選・赤池 譲司

「施しをするときは、右の手のすることを左の手に知らせてはならない。」
マタイによる福音書 6章3節

9月 巻頭言



会長 興水 順雄

パリ・オリンピックでの日本選手の活躍、ヴァンフォーレ甲府の連勝など嬉しいことが続きました。しかし、酷暑、豪雨災害、大型台風、地震と自然災害はますます厳しいものになっています。酷暑・豪雨災害・大型台風については、地球環境を悪化させた我々人類の責任も大きいと思います。地球環境を昔に戻すことはできないまでも、環境の悪化をくい止めるための行動が必要です。資源の無駄遣いを減らすこと。3R(リデュース、リユース、リサイクル)を徹底して、生活ごみをゼロに近づけることが必要です。こうしたことを意識して、日ごろの活動をしていきたいと思っています。

8月第1例会で、チェンマイで開催される「ワイズ国際大会」に参加するユースリーダー本田生磨さんへの支援金を募ったところ、皆様のご協力で63,060円もの金額が集まりました。皆さんの熱い気持ちに感謝です。本田さんには例会でワイズ国際大会に参加した様子を報告してもらう予定です。

今年も「ぶどうの丘例会」の季節となりました。美味しいぶどうとまろやかなワイン、山梨が一番輝くときでもあります。多くの皆様が楽しみにしている例会です。あずさ部からも多くのゲストが参加してくれるものと思います。クラブの活動はYMCA支援・社会奉仕が基本ですが、こうした懇親の場も大切にしていきたいと思っています。

今年も「ぶどうの丘例会」の季節となりました。美味しいぶどうとまろやかなワイン、山梨が一番輝くときでもあります。多くの皆様が楽しみにしている例会です。あずさ部からも多くのゲストが参加してくれるものと思います。クラブの活動はYMCA支援・社会奉仕が基本ですが、こうした懇親の場も大切にしていきたいと思っています。

まだまだ厳しい暑さが続きますので体調を崩さぬようにして、各種行事への参加をお願いします。

9月第一例会プログラム

2024年9月21日(土) 11:00~
会場：甲州市勝沼「ぶどうの丘」

第一部 例会(会議室)	司会	水越正高ワイズ
1. 開会点鐘		興水順雄会長
2. ワイズソング・ワイズの信条	奏楽	荻野優子ネット
3. 今月の聖句・一言		赤池譲司ワイズ
4. 会長挨拶、ゲスト紹介		興水順雄会長
5. ユース報告 山梨YMCA1-リーダー		本田生磨さん
YMI国際大会出席報告(タイ・チェンマイ)		
6. ぶどうの丘ヒストリー		甲州市役所様
7. YMCA報告・諸報告		
8. YMCAの歌		
9. 閉会点鐘		興水順雄会長

…記念撮影…

第二部 懇親会(バーベキュー会場)	
①開会の辞	佐藤重良直前理事
②食前の感謝	松村禎夫ワイズ
③乾杯 ワイズメンズクラブ国際協会 TOF 委員長	田中博之ワイズ

…懇談… ゲストスピーチ&アピール

*アピール：東京八王子クラブ30周年記念例会

④ハッピーバースデー	
⑤閉会挨拶	興水順雄会長

*プログラムは変更になる場合もございます。当日配布プログラムをご利用ください

《9月の誕生者》 Happy Birthday!

〈メン〉	〈メネット〉	[敬称略]
後藤 哲夫 9/1	功刀佳津子 9/23	
松村 禎夫 9/3		
山口 了 9/9		
古屋 秀樹 9/11		
清藤 城宏 9/14		
小澤 智之 9/28		



2024年8月 第一例会報告

書記 荻野 清

- ・日時 2024 年 8 月 6 日 (火) 18:30 ~
- ・会場 山梨 YMCA 3F ホール「ベテル」

8 月は、クラブ第 2 例会として 8 月 2 日に開催された、山梨 YMCA『ふくろうキャンプ』は、メン 12 名・メネット 6 名の参加があり、恒例のカレー作りの他、“鶏から揚げ”と“トウモロコシ”の豪華ランチ?の提供となりました。

■第 1 例会は 8 月 6 日、山梨 YMCA「ベテル」において、メン 30 名・メネット 5 名の他、ゲストとして Wiz 代表の中込誉世夫氏及び山梨英和学院こども園々長の石川健氏の 2 名が参加し、アジェンダに基づき進行了しました。本例会では、7 月新入会の江口ワイズの会員卓話を拝聴しました。江口ワイズは、幼少期から青年期の出来事、そして高校時代のハイワイ活動、医大時代の思い出やドクターとしての病院経営（病院再建を含む）時代、そして政治の世界へ入ってからのお話等、苦難の時があるも実り多き事があった、と想起しておりました。

また、8 月ニコニコ献金（献金額 63,060 円）は、タイのチェンマイで開催の「ワイズメンズクラブ国際大会」へ、山梨 YMCA ユースリーダー会の代表として参加した、都留文科大学生の本田生磨さんへ贈呈しました。メン&メネット及びゲストの皆様にご感謝申し上げます。

（諸報告）

- ・ぶどうファンド（〆切：9 月末日 申込願います）
- ・YVLF（ユースボランティアリーダーズフォーラム）9/6 ~ 9/8 ⇒参加者は水越副会長へ
- ・ぶどう棚下例会 9/21（土）書記へ（甲府 21 グループメール）



例会風景 2024.08.06



江口ワイズ 卓話



聖句・山縣ワイズ



水越副会長



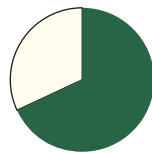
美味しいお弁当



今後の予定

9/6-8（金~日）	ユースボランティアリーダーズフォーラム（山中湖）
9/10（火）	第 2 例会 18 時半
9/21（土）	第 1 例会 ぶどう棚下例会 11 時 甲州市勝沼『ぶどうの丘』（会議室&BBQ 館）
10/1（火）	第 1 例会 18 時半
10/15（火）	第 2 例会 18 時半
10/19（土）	あずさ部 部大会（甲府クラブ）

《 8 月例会の出席者 》



68.1%

会員数	44 名
第一例会出席者	30 名
ゲスト参加者	2 名
メネット	5 名
総出席者数	30 名
出席率(会員のみのみ)	68.1%

【会計報告】

2024 年 8 月末現在



項目	ニコニコ	バザー	クリスマス	トータル
目標値	250,000	100,000	50,000	400,000
8 月の合計	(63,060)	0	0	(63,060)
8 月末迄累計	32,002	0	0	32,002
達成率	12.8%	0.0%	0.0%	8.0%

第一例会ニコニコは 63,060 円になります、チェンマイ国際大会に出席のユースリーダーの本田生磨さんに支援致しました。

YMI 第74回 世界大会参加報告

2024.08.08～08.11

佐藤 重良

**A 開催国について**

チェンマイ空港はこじんまりして綺麗である。タイ人と日本人と比べて見ても背丈も同じ位で、区別がつかない。チェンマイ市内はゴミなど見あたらない。特に寺院の境内はきれいに清掃管理されている。寺院の中・トイレ使用する時も、全て上履きを脱ぎ、スリッパに履き替え中に入らせていただく。そしてきれいに清掃管理されている。境内はすべて禁煙なのか、喫煙所も見当たらなかった。境内の中では小学校低学年の子どもも、仏像に向かい丁寧なお参りをしていた。子供の時から仏教の教えを伝承している事だろう。気温は32度くらいで甲府の暑さより過ごしやすかった。民芸品の唐傘（紙製）等制作し販売していた。日本の文化に似ている発見もした。この地でYMI 第74回の世界大会を開催していただき、タイ国・チェンマイ市・ホストクラブ他 運営の関係するすべての人々に感謝します。

▽参加国は31か国（全世界76か国中）

▽大会登録者は 507名 日本からの登録者55名（東日本区25名+西日本区30名）

各国別の登録者数 多い順 ①韓国174名・②東西日本55名③インド53名④台湾38名⑤デンマーク35名⑥米国26名以下略以上のように 韓国の登録者数がダントツ。

B 第1日目 8月8日

15時30分開会式

・フラッグセレモニー～始まり、東日本区山田理事が日章旗で入場 歓迎の挨拶後 国際会長が7月4日に病氣療養中のチャーミング・シェンさんから(台湾)からA・シャナヴァスカーンさん(インド)に緊急交替したので本大会で国際執行役員就任式が実施される。新国際会長シャナヴァスカーンさんの「熱意と努力で目標を達成する」という力強い受諾スピーチ。
主題：「より良い世界のために、共に」
スローガン：「立ち上がろう、そして輝こう」

ウルリック直前国際会長晩餐会実施された。余興に東日本区から東京江東・鈴木さんの獅子舞の披露有り、和やかな交流がなされ第1日目の晩餐会が終了。

C 第2日目

8月9日 9時から聖歌隊・開会祈祷・国際書記長の報告・各種 YMI のフェスティバルゲームの実施（25 種類）自由参加・14 時から国際プログラム（分科会）の発表会実施、TOF 事業は 東日区から田中博之さんが TOF チームの発表会が実施された・エリアミーティングの実施（分科会）・各国の民族衣装のファッションショー実施・18 時 30 分～国際会長晩餐会実施

▽**国際会長のスピーチ** 世界の全ての人が平和になることが目標である。YMCA と協働しなければならない。YMCA の事業に協力しなければならない。ワイズメンは思いやり、無私の奉仕。私は貧しいところからの出身である。多様性に対しても取り組む。私は 10 項目の「Agenda25」を掲げて実現に向けて共に努力します。世界中の会長の教育。会員増強に努めます。

詳しくは 2024 年 7 月の国際会長ニュースに記載されています。

▽カルロス世界 YMCA 同盟総主事

YMCA のミッション

・国際会長の各種顕彰実施等を見ながらの晩餐会。和やかな交流会で進行・民族衣装によるファッションショー・タイ北部の伝統パフォーマンスも挟みながら実施

D 第3日目

・8時45分 イスカソン8チームの出発
・18時30分 次期国際会長の晩餐会
・チェンマイ市長挨拶・IBC 締結式他・国際会長の顕彰（YMCA のリーダー・女性参加者）
・各国エリヤ・韓国歌手等のパフォーマンス披露・閉会の辞 国際書記長

E 第4日目

・6時30分 ウォーカソン・9時聖歌隊・祈祷・9時 30 分**基調講演戦略 2032**の成功に向けて・507 名の集合写真ホテルの玄関にて実施
次回 75 回 YMI 世界大会 2026 年（ドバイで）
▽次回 **IYC 世界大会** 2024 年 11 月 5 日

～10日 ドバイにて開催（山梨 YMCA スタッフ風間奈月さん出席予定）

▽次回アジア太平洋地域大会 熊本・2025 年 8 月予定

F IBC オーストラリア アデレードクラブとの再会・面談

元国際会長 Jones 夫妻と面談しました。8月9日15時30分～16時まで。通訳福田奈里子さん（山梨 YMCA）今回オーストラリアから2名の参加でお二人ともお元気でした。アデレードクラブは現在15名のクラブ「交流をしましょう」と声掛けしました。夏は暑いので春または秋が良いですとの事。お互いの国のワインを交換しましょうかと提案したら、お互い費用の掛かることはやめましょう、でした。子供さんが日本の寿司が大好きとの事でした。お米がおいしいからおしゃっていました。日本の子供たちとお寿司を作りたいですと提案がありました。

・アジア太平洋地域大会・熊本（2025 年 8 月予定）には大勢で行きたいと思っております。

G 山梨YMCAから参加

山梨YMCA福田奈里子ディレクター、都留文大4年ユースリーダー本田生磨さんのお二人も参加して多くの人と交流されました。今後の活動に収穫が多かったと思います。参加いただき、ありがとう！



左から 本田生磨さん 福田さん ジョーンズご夫妻 佐藤重良

「日本での百年」を辿って

カナダ・メソジストの歩み [明治・大正編]
グウェン・R. P. ノルマン 著
後藤哲夫 訳
One Hundred Years In Japan, Part I: 1873-1923

後藤 哲夫

第 8 回 ミッション・スクールの生活

早くまだ暗いうちに、イエスは起きて、人里離れた所へ出ていき、そこで祈っておられた。(マルコ 1:35)

メソジスト・教会を創設したジョン・ウェスレーは、早起きで生涯朝 4 時に起床していた。1848 年彼が設立したキングスウッド・スクールの寄宿舎では、生徒たちは朝 4 時起床。5 時まで各自読書、歌唱、自省または黙想。5 時公式礼拝。6 時朝食、勉強、祈り。7 時授業開始だったそうだ。

またいくら控え目に言っても、日曜日の規則はひどく厳しいものだった。日曜学校は九時から始まり、一〇時に説教を聞く。午後四時から祈禱会。五時半から六時まで讃美歌練習を通して英語と宗教を学ぶ。七時から再び夕礼拝。そこには健康で世俗的なことに使われる時間などはなかった。午後一時から二時の間に自主的に祈りの会を始める少女たちも現れた。上級の少女たちもそれに負けまいと同じ時間にバイブル・クラスを開始した。学校のクリスチャン

の生徒と教師の中に、麻布、下谷、牛込の教会に出かけ日曜学校の教師として午後に奉仕する者もいた。その一人は、夜七時からの夕拝に欠席してもよいと知って感謝している。水曜日の午後は全員祈禱会に出席することになっていた。全体的にこのような集中的な教育の結果、六五人のクリスチャンが生まれたことは、さほど驚くべきことではない。それは一八八七(明治二〇)年のことであった。さらに翌年、クリスチャンの数は一二八人と増えていった。

これは英和女学校の日曜日の日課である。

6:00 起床
9:00 日曜学校(麻布、下谷、牛込の教会へ)
10:00 礼拝出席(同教会で)
13:00-14:00 バイブル・クラス、自主的な祈会
16:00~ 祈禱会
17:30-18:00 讃美歌練習
19:00~ 夕礼拝

(*山梨英和の場合、日曜日に生徒は正装し、列をなして甲府教会に出かけたという話を聞いたことがある。)

週日の生活も、時間割がきちんと決められ徹底していた。日々の時間を合理的に規則正しく使うというメソジスト(几帳面屋)の特色である。まるで修道院や禅寺の生活に似たものを感じないだろうか。最初の婦人宣教師ミス・カートメルは女学校に寄宿舎をつくり、そこでの教育を重視した。二つの目的があった。婦人宣教師と一人の日本人舎監とが生徒と寝食を共にして、生活の中で、信仰とは何か身をもって教えたかった。そこからクリスチャンの生徒が育ち、「世の光」「地の塩」となって働いて欲しいと願ったのである。もう一つは、宣教師だけでなく、友達とも絆を結び、日本の少女たちに、一つの家族(ホーム)の一員だという体験をさせたかったと思う。

昔、学校はミッション(伝道の)・スクールといわれた。勿論、寄宿生の他、通学生も多く受け入れていた。教会と学校は一体(「車の両輪」と表現するひともいる。)であった。今日ではその呼称はなくなり、「キリスト教学校」とか「キリスト教主義学校」と言われている。そして、「キリスト教学校教育とな何か」が常に論議されてきた。赤城泰(北星学園大学元学長は)氏は「礼拝なきキリスト教学校というのはあり得ない」「まさにキリスト教教育の目標とするところは、まことの礼拝であるということになる」(大西晴樹氏「近代におけるキリスト教学校教育」参考)と述べている。日々の礼拝を止めてしまったキリスト教学校の中で、三英和が、礼拝を守り続けているのは、驚くべきことだと思う。

ところで、YMCA は教会の青年たちの中から生まれた。草創期と現代では問題が違うが、原点を考え、歴史を学ぶことも悪いことではないと思う。

ブリテン委員長 野々垣和宏です。

宗教の力は、習慣にあるのかもしれない。ついつい飲み過ぎた翌朝、痛感することもあります。キチンとした生活をしなさい、と身体の中から教えてくれます。そして思うことは、「朝が来るから、目が覚めるのではない。目を覚ますから、朝が来る」ということ。ともすれば受け身に見えるメソッドは、朝を迎える力となっているのかな、と思います。

ペンリレー

寺田 喜長

駒田勝彦さん 何故？ でも全て感謝

今年の 6 月中旬に駒田さんから突然の退会を伝えられました。まさかの事で冗談ではと信じられませんでした。チャーター以来山梨市からの遠距離参加にも関わらず 34 年間例会皆勤をされ、クラブ会長 2 回、第 16 代東日本区理事、更に何年間も区役員を務められてワイズ活動には並々ならぬ熱意を注がれていたことはワイズ仲間では多くの方の認める存在です。年齢による車での例会出席に不安を感じて何か起こる前にとの決断と伺いました。駒田さんにとって例会に出席できないことはワイズメンとしての責任を果たせない、そんな思いをされているのではないのでしょうか。

ワイズの信条「会合には出席第一」「義務を果たしてこそ権利生ずる事をさとうろ」が果たせないことは許されないのではないかとワイズ魂を感じます。

チャーターメンバーとして初めてお逢いし、クラブの最初の事業「700 円募金」で日本住血吸虫症で苦しむフィリピンの方々への特功薬（1 錠 700 円）をお届けするための募金活動を始めた折りに現地の罹患環境、治療環境を知るため故林正高先生にご案内頂き駒田さんと山縣さんと共にフィリピンのレイテ島を訪問しました。駒田さんにリーダーシップを採って頂き何もわからない私をご指導してくださいました。以来何かと言えば駒田さんに相談しご指導いただきました。駒田さんをリーダーに初心者向けの「雁が腹摺」「日向山」等の登山を何回か開催し山歩きの楽しさと教えて頂き同時にその健脚を認識、羊歯についての知識も豊富で登山の道すがら、更に会員卓話でも説明して下さいました。

「創造 多様性を生かしてイノベーション」は第 16 代東日本区理事を務められた時の主題です。今では目新しい言葉では有りませんが、当時はまだ目新しい「イノベーション」を使用し、IT に関しても早くから関心を持ち、「年齢は関係無いんだよ」と新しい環境を活用されてました。ワイズの国際的な海外の大会にもメネットを伴い積極的に参加され、ワイズライフを大いに楽しまれていたとお見受けしていました。思い返せば次から次へと思い出される“ワイズドアップ”の生活がワイズメン駒田勝彦さんと思います。退会されたとは言え今後も何かとご指導いただけますようお願い次第です。感謝。

◆YMCA 便り◆

「思い出から続く未来へ」

総主事 中田 純子

暑さが少しずつ和らぎ、秋の気配が感じられる季節となりました。今年の夏も、皆様のご協力により、多くの子どもたちに素晴らしい思い出を残すことができました。

この夏、多彩なプログラムが企画・運営され、子どもたちは様々な体験を通じて、多くの思い出を作ることができました。特に、ワイズメンズクラブの皆様には、恒例のふくろうキャンプでの昼食のカレーや唐揚げを子どもたちと共に作っていただき、人にとって大切な食を共にしていただき、大変感謝しております。自然の中でのびのびと過ごす子どもたちは、昨年よりも成長している姿が見られ、毎年行うことの意味を実感いたしました。また、大きなスイカの提供により、日頃なかなかできないスイカ割りを楽しむことができ、子どもたちにとって特別なごちそうとなり、笑顔が絶えないひと時でした。さらに、暑い夏を乗り切るための手作りうちわをご提供いただき、子どもたちが思いの絵を描いて、夏の風物詩を楽しむことができました。

甲府 21 ワイズメンの鎌田様には、戦争のお話会でのご協力をいただきました。お話を通じて平和の重要性を学ぶ貴重な機会となり、子どもたちの真剣な姿勢や「折り鶴」の歌声に深い感動を覚えました。8月の YWCA 主催のピースフェスティバルを通じて、子どもたちに平和の重要性を学ぶ機会が用意され、世界中の異なる文化や歴史を学び、互いの違いを尊重することの大切さを感じながら、音楽やアートを通じて平和のメッセージを表現し、一人ひとりが輝くことができる世界の実現を目指していきます。

また、今年の夏は世界パリオリンピックに注目が集まった夏でもありました。笑顔あふれる選手、泣き崩れる選手、また年齢問わず幅広い層の参加がありさまざまな表現が見られました。多くの人に勇気と力を与えたのは間違えありません。オリンピックは、スポーツを通じて世界中の人々がつながる平和の祭典です。選手たちの努力と情熱は、多くの子どもたちに夢や希望を与えるものでした。山梨 YMCA も、平和を表現できる時のために、子どもたちのより良き成長とチャレンジ精神の育成を目指しています。

これらの経験は、ただの思い出ではなく、未来に向かう大切なステップとなります。私たちが一緒に作り上げたこの夏の思い出が、子どもたちの未来に向かう力となり、より豊かな未来を築くための礎となることを願います。



アサリじゃないよ、ブドウだよ。